


フォト 一撮る・観る・想うー PHOTO HIROSE 2020 ひろせ

開催しました♪

MY HOMETOWN HIROSE

一撮る・観る・想うー

フォト PHOTO HIROSE ひろせ 2020



写真部力

宮城県宮城広瀬高等学校 写真部
仙台高等専門学校 写真部
広瀬フォトサークル 専攻人

令和2年12月8日（日）から20日（日）まで
仙台市広瀬文化センターロビー
入場無料

※ コロナウイルス感染拡大防止のため、開催
期間中はマスクの着用が義務づけられています。

仙台市広瀬文化センター
022-962-8401
主催：仙台市広瀬文化センター

コロナ禍の中で無事じつじつと開催できたことは、写真部員一人ひとりの努力と、地域の方々の応援のおかげです。また、感染予防対策として、会場を1階と2階に分けての開催となりました。



様々な想いをめくらせて撮る。両校の学生の皆さんの作品は、今年も皆さんが注目していました。



「一撮る・観る・想うー PHOTO HIROSE」は、様々な人の感性によって撮られた写真が持つ表現力で、地域の魅力を広めることを目的に、2014年の冬から始めたミニ写真展です。

これまで、地域の美しい風景や、お祭りや伝統芸能など、地域にある魅力的な瞬間をテーマにしてきましたが、今年度は、コロナ禍のなかで感じられた大切な事や出来事、個人の思いなどを、地元アマチュア写真家の皆さんの目線で見つめていただきました。

また、コロナ禍の中において開催となることから、感染予防対策として、会場を1階と2階に分けての開催となりました。

エントランスより1階の会場に入ると、今回より参加となりました、「仙台高等専門学校写真部」の写真作品が目飛び込んできます。部員20名で、それぞれ自分の好きな方法で撮影しながら作品作りに励んでいます。

並んで「宮城県宮城広瀬高等学校写真部」の写真作品ですが、これまで、宮城県高等学校写真展で、様々な賞を受賞する名門校らしく今年度もコロナ禍のなか感じた事をテーマにしながらクオリティの高い作品の展示となりました。





撮るも観るも、そして、想うも写真の楽しみ方は十人十色。
展示会場は、感性を共有できる場でもあります。



2階の会場は2つの地元写真グループの作品展です。「広瀬フォトクラブ」さん作品は、地域の出来事などを中心に、大変、親しみ易く、季節の花々や地域の名所の四季を捉えた写真が多く並びます。

広瀬フォトクラブの皆さんは、地元宮城地区にちなんだ写真を手掛けています。宮城県写真連盟への応募や、グループ展示会を開催するなど積極的な作品を発表を行っています。今後もこうした地域の姿をテーマとした写真の撮影を増やしていきたいとのことで、新たな会員についても募集しています。

続いては、「広瀬フォトサークル写楽人（シャラット）」の皆さんの作品です。初心者からベテランまでの面々で、各々の感性の赴くまま、四季折々の写真を撮ることを、楽しみに活動されています。“その時の感動が伝わる写真を撮りたい、自分の撮りたいものは何なのか、何を伝えたいのか、模索しながら撮ることに向きあうようになり、宮城地区の豊かな自然や文化等を楽しみながら、広く地域の魅力を発信しようという思いを持ち活動しています。いずれのサークルの皆さんの作品からは何気ない日常に潜む宮城地区の魅力が伝わってきます。



広瀬文化センターでは、“マイギャラリーinひろせ”などの運営をもって、お客様や地域の皆様に文化活動発表の場をご提供しながら、施設の賑わいのある空間創出を目的とした“賑わい空間創出事業”を進めています。PHOTO HIROSEはロビー空間を活用して開催しましたが、今後も様々なかたちで、身近な芸術作品を発表する機会のご提供と、賑わいに満ちた文化センターの空間づくりを進めていきますので、どうぞご協力をお願いします。

- 期 間 令和元年12月8日（火）から12月20日（日）まで
- 場 所 広瀬文化センター（1階ロビー・2階オープンスペース）
- 協 力 仙台高等専門学校広瀬キャンパス写真部・宮城県宮城広瀬高等学校写真部
広瀬フォトクラブ・広瀬フォトサークル写楽人
- 来場者 延べ1,000人